



平成30年度事報告書

平成30年6月1日から令和1年5月31日まで

法人名：NPO法人 九州災害復興支援リーダーズサミット

1 事業の成果

北海道胆振東部地震では支援物資、蕎麦の炊き出し等の支援を行った。熊本復興落語寄席では、施設の慰問や熊本地震で再建されたお店の柿落としとして笑いを届けることができた。

防災キャンプでは小学生を対象にして、小刀を使用し箸を自作したり、竹飯盒で自炊したりした。

いずれも沢山の方々に喜んで頂くことができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

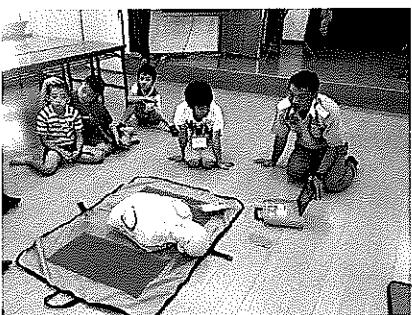
定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
被災者への物資支援、飲食支援を図る事業	・北海道胆振東部地震での物資、炊き出し支援	10月	北海道胆振東部	1人	150人 安平・厚真・むかわ	113
被災者の社会復帰を図る為の心のケア事業	・熊本復興落語寄席	5月	健軍商店街・老人ホーム・他	3人	90人 健軍商店街・老人ホーム	110
復興を通じて子どもへの総合的学習を図る事業	・防災キャンプ	10月	小峯公民館	4人	20人 山ノ内校区	116

* 定款第5条に掲げる、

- ① 避難所の運営、サポートを図る事業は、一時避難の避難所は発生したが、運営やサポートを図る程の避難所はなかった。今後、災害発生時に実施する。
- ⑥ 官学民、地域住民が主催する復興支援活動に関する各種催しへの協力事業に関しては、計画予定はあったが日程がずれたため今年度は実施しなかった。
来年度は日程調整済で実施予定である。

NPO 法人九州災害復興支援リーダーズサミット主催

子ども向け防災キャンプ記録



救急救命士の方から、胸骨圧迫・AED 使用法・身近な物を使った応急処置法などを学んだ。

胸骨圧迫：乳首を結んだ胸の中心を目安に、大人は約5~6cm、子どもは3分の1程度

胸が沈むくらい圧迫する。速さは1分間100~120くらい。速さの目安は「あんたがたどこさ」または「もしもしかめよ」

AED：最近のものは、蓋を開けると全部音声案内が流れるので、その手順で行う。また、装着したAEDは外さない。AEDの設置場所についても再確認を行った。

応急処置法：添木が必要な時、新聞紙を重ねて添えても利用できることなど。



竹細工名人より、安全な小刀の使い方を習い、小刀を使って竹で自分の箸を作った。

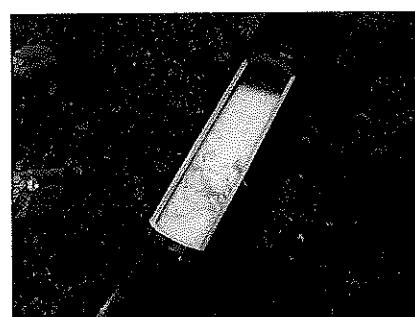
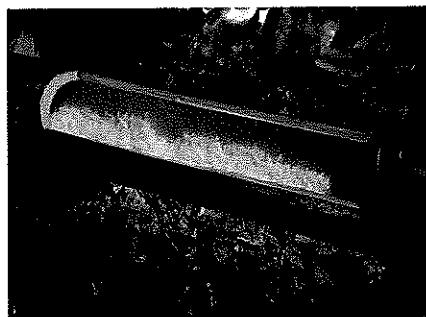
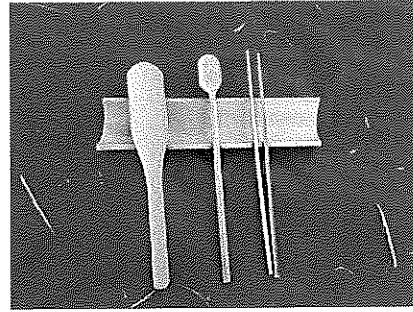
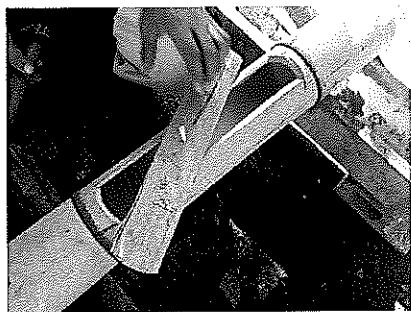
小刀は動かさず、左手の竹のみ動かすのがコツ。竹の器も作った。

また、二日目の最後には、小刀を使って鉛筆を削った。



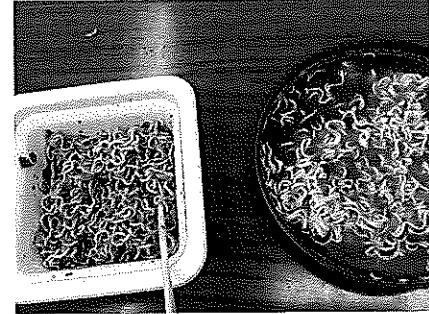
テントを使った宿泊体験を行った。

ハンモック型テントは、熊本地震の時も活用され、余震を感じないテントとして人気があった。他、コールマンのテントを計5張設置した。



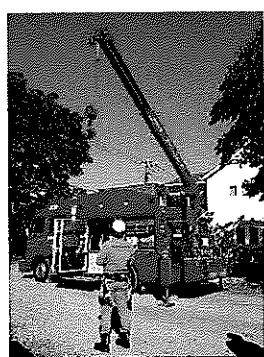
竹飯盒を使い、実際に炊飯体験を行った。

竹は節を利用して蓋を切り抜き、炎に当てないように炊飯した。竹飯盒のご飯は竹の香りがつくとともに、もっちりと炊きあがり美味しい。また、竹の殺菌効果で通常に炊飯したご飯より傷みにくい。



竹を使ったバームクーヘンつくりを行った。

また、水戻レインスタント麺の実演も行った。カップ麺・袋麺ともに水を入れて15~20分ほどで食べられる。焼きそば麺は水をひたひたで水切り不要。ただし、最後に油を入れるタイプのものは、水と油が分離するので、味が落ちる。



消防署のレスキュー隊の方から、レスキュー用の特殊作業車を見学させてもらった。

また熊本地震の概要を兼ね、発災時、乳児を救出した古田隊長より、当時のことを講義頂いた。

NPO 法人 九州災害復興支援リーダーズサミット

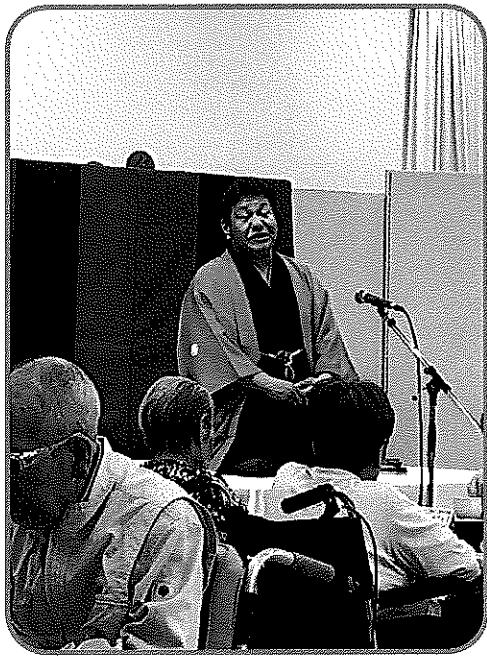
古今亭駿菊師匠による落語慰問の記録

★ 2019年5月21日 日生会 バラ苑

全国でも珍しい、盲目高齢者の方のための施設です。

駿菊師匠も落語家として全員が盲人という相手の演目は初めての経験だったようで、演目に関して制限もあり、師匠ご自身が勉強になったとのお話をしました。

施設の皆さんとの表情も最初は固く感じましたが、だんだんと笑顔も出て、最後はニコニコと聞いてくださいり、結果的に大成功だったと感じました。



★ 2019年5月22日 ヒルサイドガーデン山吹

認知症の方が多い施設でしたが、通常の落語のほかに南京玉すだれも披露され、職員の方の話によると、普段笑わない方も笑っていたとのお話を伺えました。



★ 2019年 5月22日 熊本市健軍商店街振興組合

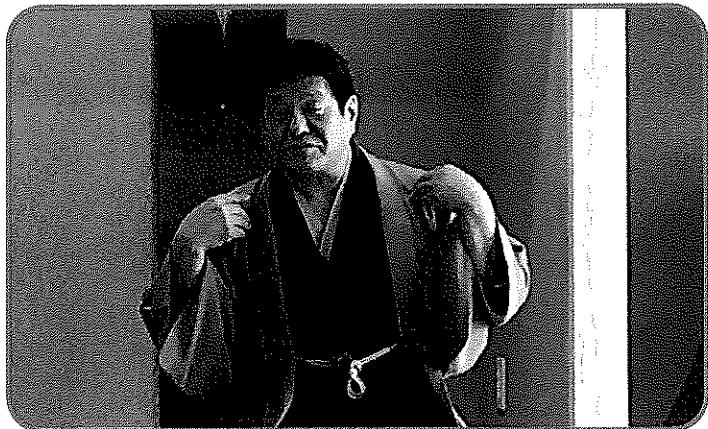
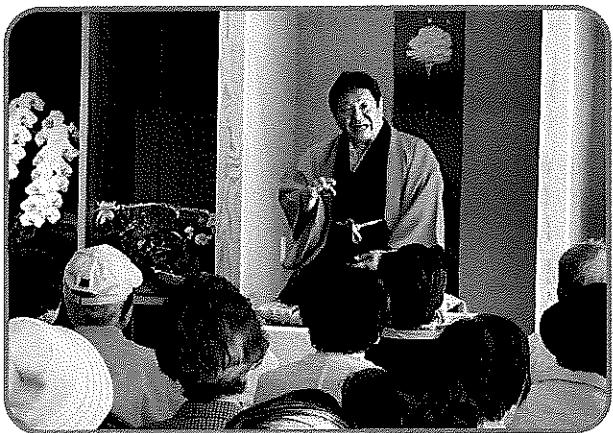
熊本地震により、隣接するスーパーの倒壊とともにアーケードも崩れた健軍商店街。今回は、その崩れた場所の正面にある、まちなか図書館に高座を組んでいただきました。商店街の振興組合の方、ご近所の方々など多くの方にお越しいただき、満席の中で笑いの絶えない寄席になりました。特に後半は、最前列に座っていた小学生の女の子と師匠の掛け合いで、会場もさらに盛り上りました。



★ 2019年5月23日 御船町 藤木屋

報道は少ないが、熊本地震で甚大な被害を受けた御船町。

藤木屋さんも被災し、一時は閉鎖も考えられたようですが、3年目で再建されそのこけら落としての落語寄席をし、多くの方に喜んでいただきました。



平成30年度 活動計算書

平成30年6月1日から令和元年5月31日まで
(NPO法人九州災害復興支援リーダーズサミット)

科目	金額 (単位:円)		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取入会金	12,000		
正会員受取会費	30,000		
賛助会員受取会費			
2 受取寄附金			
ボランティア受入評価益	100,000		
施設等受入評価益	88,000		
3 受取助成金等			
受取民間助成金			
4 事業収益			
被災者への物資支援、飲食支援を図る事業	159,016		
被災者の社会復帰を図る為の心のケア事業益	3,000		
復興を通じて子どもへの総合的学習を図る事業益	19,000		
	0		
		181,016	
5 その他収益			
受取利息	0		
雑収入	0		
経常収益計			
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	0		
ボランティア評価費用	100,000		
法定福利費			
人件費計	100,000		
(2) その他経費			
旅費交通費	43,720		
支払保険料	4,820		
地代家賃	1,000		
支払い寄付金	80,000		
イベント消耗品	11,612		
講師料	5,000		
施設等評価費用	88,000		
備品	5,934		
その他経費計	240,086		
事業費計		340,086	
2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当			
役員報酬			
福利厚生費	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
事務用品費	1,897		
会議費	880		
租税公課	1,200		
接待交際費	5,000		
支払手数料	1,872		
消耗品費	8,284		
雜費	2,084		
その他経費計	21,217		
管理費計		21,217	
経常費用計			
当期経常増減額			
III 経常外収益			
1 固定資産売却益			
経常外収益計			
IV 経常外費用			
1 過年度損益修正損			
経常外費用計			
当期正味財産増減額			
前期繰越正味財産額			
次期繰越正味財産額			
		0	
		0	
		0	
		0	
		49,713	
		6,241	
		55,954	

計算書類の注記(平成30年度)

法人名：（NPO法人 九州災害復興支援リーダーズサミット）

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1)固定資産の減価償却の方法

今年度、固定資産の発生はなかった。

(2)施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

施設の提供等の物的サービスの受入れは、活動計算書に計上しています。

また、計上額の算定方法は「3.施設の提供等の物的サービスの受入の内訳」に記載しています。

(3)ボランティアによる役務の提供

ボランティアによる役務の提供は、「4.活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳」として注記しています。

(4)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方法によっています。

2. 事業費の内訳

(単位：円)

科目	被災者への物資支援、飲食支援を図る事業費	被災者の社会復帰を図る為の心のケア事業費	復興を通じて子どもへの総合的学習を図る事業費	事業費	事業費	合計
(1) 人件費 給料手当						0
ボランティア評価費用 福利厚生費		100,000				100,000
人件費計	0	100,000	0	0	0	100,000
(2) その他経費 旅費交通費	33,620	10,100				43,720
支払保険料			4,820			4,820
地代家賃			1,000			1,000
支払い寄付金	80,000					80,000
イベント消耗品			11,612			11,612
講師料			5,000			5,000
施設等評価費用			88,000			88,000
備品			5,934			5,934
雑費						0
その他経費計	113,620	10,100	116,366	0	0	240,086
合計	113,620	110,100	116,366	0	0	340,086

3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

(単位:円)

内容	金額	算定方法
1名用テントサイル UNA	88,000	メーカーホームページの小売価格を参照

4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

(単位:円)

内容	金額	算定方法
古今亭駿菊師匠による落語寄席1名3日	100,000	東京往復旅費5万円及び落語1席1万円の5回分として

平成30年度特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表
令和元年 5月 31日現在

(NPO法人九州災害復興支援リーダーズサミット)

科目	金額(単位:円)	
I 資産の部		
1流動資産		
現金預金		
現金	11,350	
預金	44,604	
流動資産合計		55,954
2固定資産		
.....		
.....		
.....		
固定資産合計		0
資産合計		55,954
II 負債の部		
1流動負債		
.....	0	
.....		
.....		
流動負債合計		0
2固定負債		
.....	0	
.....		
.....		
固定負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		6,241
当期正味財産増加額(減少額)		49,713
正味財産合計		55,954
負債及び正味財産合計		55,954

平成30年度財産目録
令和1年5月31日現在

(NPO法人九州災害復興支援リーダーズサミット)

科目・摘要	金額(単位:円)	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金	11,350	
普通預金	44,604	
.....	
.....	
流動資産合計	55,954	
2 固定資産		
.....	
.....	
.....	
.....	
固定資産合計	0	
資産合計	55,954	
II 負債の部		
1 流動負債		
.....	
.....	
.....	
.....	
流動負債合計	0	
2 固定負債		
.....	
.....	
.....	
.....	
固定負債合計	0	
負債合計	0	
正味財産	55,954	